

つくば市における市民活動の現状と市民活動センターの役割に関する調査 アンケート実施結果

(筑波大学 上田研究室アンケート結果とりまとめを元に作成・修正加筆有)

- ・実施期間：平成 28 年 3 月～5 月
- ・アンケート配布数：216 団体
- ・アンケート回答数：110 団体

1. 貴団体についてお尋ねします。

(1) 「特定非営利活動法人 (NPO 法人)」の認定を受けていますか。 (はい ・ いいえ)

はい 52 団体 (47. 3%)

いいえ 55 団体 (50. 0%)

無回答 3 団体 (2. 7%)

<コメント> 「はい」と「いいえ」の回答率はほとんど同じで、特筆すべき点は特にない。

(2) 活動を始めてからどれくらいの期間になりますか。

1 年以内 2 団体 (1. 8%)

1～3 年 19 団体 (17. 3%)

3～5 年 12 団体 (10. 3%)

5～10 年 24 団体 (21. 3%)

10 年以上 51 団体 (46. 4%)

無回答 2 団体 (1. 8%)

<コメント>10 年以上活動していると答えた団体が最多で、つくば市内、近郊の活動団体には長期間に渡って活動を続けている団体が多いことがわかる。

(3) 主な活動分野は、下記のどれにあてはまりますか。(複数回答可)

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 | 42 団体 |
| 2. 社会教育の推進を図る活動 | 20 団体 |
| 3. まちづくりの推進を図る活動 | 27 団体 |
| 4. 観光の振興を図る活動 | 7 団体 |
| 5. 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 | 6 団体 |
| 6. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 | 29 団体 |
| 7. 環境の保全を図る活動 | 30 団体 |
| 8. 災害救援活動 | 4 団体 |
| 9. 地域安全活動 | 9 団体 |
| 10. 人権の擁護又は平和の推進を図る活動 | 6 団体 |
| 11. 国際協力の活動 | 10 団体 |
| 12. 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 | 8 団体 |
| 13. 子どもの健全育成を図る活動 | 36 団体 |
| 14. 情報化社会の発展を図る活動 | 7 団体 |
| 15. 科学技術の振興を図る活動 | 3 団体 |
| 16. 経済活動の活性化を図る活動 | 5 団体 |
| 17. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 | 6 団体 |
| 18. 消費者の保護を図る活動 | 1 団体 |
| 19. その他 | 12 団体 |

国際交流／地域及び近隣の中高年諸氏の居場所をつくる活動／産後の女性の活躍を図る活動／青年海外協力
隊員への支援活動／高齢者の活性化／地域イベント救護活動／老人会／環境教育／近隣大学の生徒の受け入
れ／障害児の健全育成

<コメント>回答数が多かったのが、「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」と「子どもの健全育成を図る活動」の2つである。この両者はボランティア活動の中でも行われることの多いものだととらえていいのであろうか。

(4) 貴団体の取り組みを紹介するホームページやSNS (Facebook 等) はありますか。

- | | |
|-------|--------------|
| 1. ある | 78団体 (70.9%) |
| 2. ない | 32団体 (29.1%) |

<コメント>SNSやホームページなどを持っている団体が7割を占めており、活動の告知や報告などを自前で行うことができる団体が数多い。

(5) 活動を中心的に担うメンバー (スタッフ) は何名ぐらいいますか。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 5名以下 | 43団体 (39.1%) |
| 2. 5~10名 | 33団体 (30.0%) |
| 3. 10~20名 | 22団体 (20.0%) |
| 4. 20名以上 | 12団体 (10.9%) |

<コメント>活動を担うメンバーについては、5名以下の団体が最多で、人数が増えるにつれて、そのような団体数が逡減していることがわかる。

(6) 専従の職員 (有給) は何名いますか。 () 人

- | | |
|------|--------------|
| 0人 | 74団体 (67.3%) |
| 1~5人 | 19団体 (17.3%) |
| 6人~ | 8団体 (7.3%) |
| 無回答 | 9団体 (8.2%) |

<コメント>専従の職員数は圧倒的に0人と回答した団体数が多い。市民団体やNPOの金銭的余裕の無さを表していると考えられる。6人以上の団体がどのような活動をしているかなどについても関連性が見られるかもしれない。

(7) (5) や (6) の方々に、研修や学習の機会がありますか。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 定期的に研修や学習会を行っている。 | 20団体 (18.2%) |
| 2. 不定期だが、研修や学習の機会がある。 | 51団体 (40.4%) |
| 3. 研修や学習はしていない。 | 35団体 (31.8%) |
| 4. 適した研修や学習の場が見つからない。 | 3団体 (2.7%) |
| 5. 無回答 | 1団体 (0.9%) |

<コメント>不定期ながらも研修や学習の機会がある団体の数が最多である。

定期的に研修、学習の場を設けている団体と併せると、64.5%になり、過半数の団体が研修や学習の機会を設けているということが分かる。安定した研修や学習の場を設けるのは課題の1つなのかもしれない。

(8) 事業の紹介・報告 (財務を含む) に関する資料を作成し、公開していますか。

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 常に行っている | 43団体 (39.1%) |
| 2. 作成しているが、公開していない | 41団体 (37.3%) |
| 3. 作成していない | 15団体 (13.6%) |
| 4. 無回答 | 11団体 (10.0%) |

<コメント>報告書を作成している団体は76.4%にのぼるが、それを公開しているのは39.1%に留まる。NPO法人には報告書の作成と報告の義務等が課されていると考えられるので、「公開」の範囲を回答者がどのように捉えたか、また、回答者が知っているのかどうか等によって回答が変化している可能性がある。

(9) 活動を行う上で、困難や課題だと感じていることは何ですか。(複数回答可)

運営を続けるための課題

- | | |
|------------|------|
| 1. 資金 | 65団体 |
| 2. 物資 | 9団体 |
| 3. 人材 | 69団体 |
| 4. 知識やノウハウ | 21団体 |
| 5. ネットワーク | 17団体 |
| 6. その他 | 8団体 |

(施設、活動拠点となる土地がない/高齢/コンセプト作りと共有/会員の増強、集客)

<コメント>運営の課題については、やはり「資金」と「人材」の2つが突出していることが分かる。

事業を行うときの課題

- | | |
|------------|------|
| 1. 資金 | 59団体 |
| 2. 物資 | 8団体 |
| 3. 人材 | 61団体 |
| 4. 知識やノウハウ | 22団体 |
| 5. ネットワーク | 17団体 |
| 6. その他 | 8団体 |

(施設/活動拠点となる土地がない/活動場所/事業を開催する場所の確保/高齢/体力と機動力)

<コメント>事業を行うときの課題も同様に、「資金」と「人材」が課題となっているようである。

(10) 社会貢献活動として行っているサービスを、ビジネスとして展開したいとお考えですか。

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1. ビジネスにするつもりである。 | 9団体 (8.2%) |
| 2. 可能性があれば、ビジネスにしたい希望がある。 | 26団体 (28.6%) |
| 3. ビジネスにするつもりはない。 | 63団体 (57.3%) |
| 無回答 | 12団体 (10.9%) |

「ビジネスにするつもりはない」の回答率が最も高かった。飽くまでも社会貢献活動として展開していくという在り方を望んでいる団体が多いようである。活動内容の性質にもよるかもしれないが、ボランティアだから気軽に参加する、というような人がいる人がいることも事実の1つなのかもしれない。

2. 市民活動センターについてお尋ねします。

(11-1) 市民活動センターを利用したことがありますか。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. よく利用する | 17団体 (15.5%) |
| 2. 時々、利用する | 34団体 (30.9%) |
| 3. 数回だけ利用したことがある | 24団体 (21.8%) |
| 4. ない | 26団体 (23.6%) |
| 無回答 | 9団体 (8.2%) |

<コメント>市民活動センターは時々利用するという団体が3割に上ったが、その反面で数回のみ利用、或いは利用したことがないという団体も約45%に上っており、市民活動センターの更なる利用促進を考えていく際には、Q11-2で上がっている利用しない理由などを踏まえていく必要があると考えられる。

(11-1) 1と2に回答した方にお聞きします。市民活動センターのサービスについて、満足度を1(不満)～5(満足)の5段階でお答えください。

※1または2と回答した団体数52

満足度 項目	1(不満)	2	3	4	5(満足)	無回答
施設の場所	5団体	6団体	14団体	10団体	15団体	2団体
施設の規模	7団体	9団体	16団体	11団体	8団体	1団体
施設の設定備・備品	2団体	9団体	17団体	12団体	10団体	2団体
施設の使いやすさ	2団体	7団体	15団体	16団体	11団体	1団体
スタッフの対応	6団体	8団体	5団体	11団体	21団体	1団体
サービスの内容	2団体	7団体	12団体	16団体	14団体	1団体

・<施設の場所に関して>

「やや満足」、「満足」の回答数を合計すると、Q11で「よく利用する」、「時々利用する」と答えた団体(52団体)のうち、半数近くの団体が満足よりの回答をしている。

・<施設の規模に関して>

ここでは、「どちらともいえない」を最多に、やや満足よりの回答数が多いが、山型のような回答傾向を示している。右側のグラフを参照のこと。

・<施設の設定備・備品に関して>

ここでは、Q11_1_2と同様に、「どちらともいえない」を最多に、やや満足よりの回答数が多いが、山型のような回答傾向を示している。

・<施設の使いやすさに関して>

右のグラフでは「どちらともいえない」よりも「やや満足」の方が多く見えるが、度数の差は1しかないため、その差はあまりないように思われる。傾向としてはQ11_1_1などと同様かと感じられる。

・<スタッフの対応に関して>

この設問では「どちらともいえない」が最も少なく、満足が最も多いという結果になった。スタッフの対応が評価されているが、スタッフに結果が見られる可能性がある以上、気をつかった可能性もあるかもしれない。

(11-2) 3と4に回答した方にお聞きします。市民活動センターを利用しない理由は何ですか。

※3または4と回答した団体数 50

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 場所が遠い | 5団体 (10.0%) |
| 2. 入りにくい | 3団体 (6.0%) |
| 3. どんなサービスがあるか分からない | 12団体 (24.0%) |
| 4. 必要なサービスがない | 8団体 (16.0%) |
| 5. 利用の仕方が分からない | 11団体 (22.0%) |
| 6. その他 | 11団体 (22.0%) |

(駐車料金が3時間までなので/駐車場が無い/駐車場不備/ネット会議/ネットを利用できるPC端末が少ない/交流センターを使っている/特にサービスは必要ないが、印刷やチラシ・ポスター等にご協力いただいています。助かっています/必要ない/40人程度入れる会議室が必要なので。活動自体が少ないため)

<コメント>市民活動センターを利用しない理由としては、「どんなサービスがあるか分からない」と「利用の仕方がわからない」の2つに並んで、「その他」も多かったため、自由記述の方を参照し、ニーズの把握に努める必要があると思われる。

(12) 貴団体の主な活動場所についてお答えください。(複数回答可)

- | | |
|------------------------|------|
| 1. 市民活動センター | 16団体 |
| 2. 地域交流センター | 24団体 |
| 3. ボランティアセンター | 5団体 |
| 4. カピオ | 4団体 |
| 5. ノバホール | 1団体 |
| 6. ふれあいプラザ | 2団体 |
| 7. サイエンス・インフォメーションセンター | 2団体 |
| 8. 老人福祉センター | 2団体 |
| 9. 福祉支援センター | 2団体 |
| 10. 各種体育施設 | 4団体 |
| 11. 中央図書館・美術館 | 2団体 |
| 12. 個人宅 | 18団体 |
| 13. その他 | 59団体 |

(自己施設/病院内の会議室等/地域の小~中学校/キリスト教会など/キャンプ場、ゴンタの丘/事務所/自前の事務所兼居場所/福祉施設・保育所・幼稚園/私設の専用ホール/研究学園駅を中心とした所/企業・市役所等/JICA 筑波国際センター/筑波山麓地域/平沢官衙遺跡及びその案内所・市民研修センター(北条)/大学・TV(局)など/企業の会計室/エポカル・オークラ・大学/筑波大学・国際会議場等/海外、つくば市松代2~3丁目の居住地域/運動施設/屋外公共地/貸会議室/自事業所/市内の公園/民間のレストラン等/フィールド福島県/他市の公民館/つくば市全域/小学校・福祉団体での活動/市民研修センター/出会いパーティー会場/宝篋山系/野外/中央公園レストハウス及び水の広場)

<コメント>活動拠点としては、市民活動センターと地域交流センターの2つに加え、個人宅が多かった。公共施設と同じくらい個人宅が使われているのは抑えておくべき事実かと感じる。また、その他の回答数も多かったため、自由記述の内容も参照したい。

(13) 市民活動センターのホームページを見たことがありますか。

- | | |
|-----|--------------|
| ある | 61団体 (56.5%) |
| ない | 41団体 (37.3%) |
| 無回答 | 8団体 (7.3%) |

<コメント>55%もの団体がホームページをみたことがあるとのことであるが、37%の団体は見たことがないそうなので、更なるホームページの充実が求められるだろう。

(13-1) ホームページを見たことのある方にお聞きします。

※見たことがあると回答した団体は61団体

1. ホームページのデザイン

見やすい	18団体 (29.5%)
普通	41団体 (67.2%)
見にくい	1団体 (1.6%)
無回答	1団体 (1.6%)

<コメント>デザインは普通であるという回答が最多で、見にくいと答えたのは1団体だけであった。

2. ホームページの情報量	多い	7団体 (11.5%)
	普通	49団体 (80.3%)
	少ない	3団体 (4.5%)
	無回答	2団体 (3.3%)

<コメント>この設問についても、普通という回答が最多で、少ないを選んだのは3団体のみだった。

3. ホームページの更新	多い	6団体 (9.8%)
	普通	50団体 (82.0%)
	少ない	1団体 (1.6%)
	無回答	4団体 (6.6%)

<コメント>更新頻度についても、普通が最多で、少ないを選んだ団体は1つのみだった。

(14) 市民活動センターが実施している業務やサービスについて、知っていることをお答え下さい。

(複数回答可)

1. 会議室スペース利用	70団体
2. 印刷機の利用サービス	71団体
3. ポスター・横断幕プリント	55団体
4. イベントカレンダーによる催事案内	54団体
5. ボランティア情報の発信、マッチング	50団体
6. 諸団体の紹介コーナー	57団体
7. 各種助成金の情報提供	46団体
8. メールマガジンの発行	34団体
9. 市民活動に関する相談業務	42団体
10. 各種講座の開催	46団体
11. 広報紙の発行	47団体
12. イベントによるバザー・活動紹介の場の提供 (こむせん市・市民活動フェスタ等)	38団体
13. その他	3団体

(PC利用、連携会、スクリーンの貸し出し、パソコン相談、パソコン講座など)

(15) 市民活動センターについて、要望がありましたらお書き下さい。

- ・活動センターが平地にあれば利用しやすい。ヘコだめ（現在地）では駐車場から歩かなければならないし無料だって1時間でしょう。もっと広々としたところに移ってほしい。
- ・車椅子だと行きにくいです。
- ・会議室が別にあると打合せなどが他の人に関係なく出来ると思いますので作っていただきたい。
- ・殆ど毎日開放しているのと、長時間開放なので、大変助かっています。扉（ドア）戸、のある個別会議室が欲しいです。
- ・カラー印刷機の導入をお願いします。
- ・駐車券を押してもらえる時間、要件を緩和して欲しい。Wifiを入れて欲しい。パソコンをもう1台入れて欲しい。貸し出し物資にキャンプ用テントなども入れて欲しい。
- ・コピーなど利用する場合に何度も氏名などを書かなければならないのももう少し簡略化していただけないでしょうか？パソコン・印刷機・駐車券など利用する場合、何度も書いたことがあります。
- ・市民活動において、中高年以上の高齢の方々は、IT世界からほとんど置きざりにされている。そういう方々にこそ（この人たちは経済的には結構足りてはいるらしいが）ITの世界の広さ、便利さ、楽しさを伝え広めてほしい。それが市民活動のような気がします。
- ・パソコン関係（フェイスブック、ツイッター、ブログ、ホームページ等）についての初心者向け講座の開催。複数回して頂けると助かります。
- ・年間に4回～5回程度小さなイベントを開いていますが、その時に和太鼓やギターの引き語りなどのイベントを実施しています。これらの紹介を頂けるとありがたい。（費用は少ししか掛けられない）
- ・ボランティア団体が活動を継続できるよう、ボランティアをしたい人をつどい、紹介してくれるサービスをして欲しい。
- ・便利な場所にあるのに、ごちゃごちゃしていて、利用しづらい。
- ・つくば市には会場使用料を減額免除する施設がないので、つくば市民・近隣住民も利用を可能とする施設であってほしいと思います。
- ・つくば市内という枠組みを越えた連携等
- ・現事業がおちついた時は、連携を要する必要性があれば活用したいです。
- ・活動展開が既存の形から進展しないため、活動センターの機能を充分活用できず、残念です。異分野とのコラボから新しい芽が生まれることもきたいしたりします。情報発進を今後ともよろしくおねがいします！
- ・NPO 法人として行っている活動に対して、これは営利事業なのでNGと言われる方がいらっしゃいます。もちろんご理解いただいている方もいらっしゃいますが、そうした状況を共有していただきたくお願い致します。

3. 他団体との連携・協力についてお尋ねします。

(16) 事業を行う際に、連携・協力している他団体はありますか。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. ある | 41団体（37.3%） |
| 2. 事業内容によってはある | 41団体（37.3%） |
| 3. ない | 25団体（22.7%） |
| 4. 無回答 | 3団体（2.7%） |

<コメント>現状で「事業内容によってはある」も含んだ場合に、連携・協力している団体があると答えた団体は約75%に上っており、連携・協力の体制がしっかりしていることが分かる。その反面、「ない」と答えた団体も約20%あることには留意したい。

(17) 事業を行う際に、他団体と連携・協力していくことを考えていますか。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 積極的に連携・協力したい | 32団体（29.1%） |
| 2. 事業内容によっては考える | 63団体（57.3%） |
| 3. 考えていない | 12団体（10.9%） |
| 無回答 | 3団体（2.7%） |

<コメント>「事業内容によっては考える」という団体が57.3%であり、「積極的に連携・協力したい」団体と併せると86.4%になっている。3割の団体が積極的な協力を考えているが、更なる連携・協力の促進のためにはこうした団体の数を増やしていくような体制の整備が必要かと考えられる。

(17-1) 1と2に回答した方にお聞きします。連携・協力する場合の相手として、期待するのはどのような団体ですか。(複数回答可)

※1または2と回答した団体は95

- | | | |
|----|-----------|------|
| 1. | つくば市 | 54団体 |
| 2. | 企業 | 39団体 |
| 3. | 研究機関 | 29団体 |
| 4. | 大学 | 40団体 |
| 5. | 幼保小中高校 | 34団体 |
| 6. | 地域の地縁団体 | 29団体 |
| 7. | 同じ分野の市民団体 | 51団体 |
| 8. | 違う分野の市民団体 | 25団体 |
| 9. | その他 | 11団体 |

(社)協力隊を育てる会、他県の団体(ボランティア)、学生団体、土浦市・水戸市、文化振興財団)

<コメント>連携・協力の相手としては、同じ分野の市民団体が多いのは勿論のことであるが、やはりつくば市を期待する団体が多かった。行政との協働は、近年、自治体行政側でも言及されることの多いことなので、今後行政と市民団体の連携・協力を更に推進していくことに、本結果が1つの根拠を与えるかもしれない。

(17-2) 他団体と連携・協力する際に、もっとも期待することは何ですか。

- | | | |
|----|---------|------|
| 1. | 資金 | 13団体 |
| 2. | 物資 | 8団体 |
| 3. | 人材 | 40団体 |
| 4. | 知識やノウハウ | 37団体 |
| 5. | ネットワーク | 51団体 |
| 6. | その他 | 5団体 |

(告知と場所の提供 公共施設の利用・市民県民への告知、広報紙への掲載、イベント協力、信頼関係)

<コメント>連携・協力の際に他団体に期待する内容は、ネットワークが最多で、次いで人材、知識やノウハウであった。人材不足は運営継続、事業実施の際の課題としてもあげられていたことであるが、他にネットワーク、知識やノウハウなどを相手に求めていることが分かる。

アンケートを通じて、ご意見などがございましたら以下にお書き下さい。

- ・ぜひ他市町村がうらやむような地域にして下さい。
- ・先日は法律問題の講座を開いて頂き、ありがとうございました。今後も他の内容で法律の専門家の話を聞いたり、相談する機会があればぜひ参加したいです。他団体と交流する会や、運営の仕方などの勉強会があっても良いと思います。
- ・当会は武道教育を行っています。地域防犯の為、合気道、空手を利用した護身術体験会を行います。このニーズに関する情報があればお伝えください。
- ・危険度の高い作業(ボランティア活動)に対応できる保険があると、とても助かります。
- ・つくば市内での活動は、ここ数年ほとんどございません。つくば市以外の市民活動との連携をどのようにすすめていかれるのか興味があります。